

ふるさと通信
TOMISATO

第 107 号

どんぐり

「富里地域ふるさと協議会」は、JR 柏駅から南柏駅に位置する 7 つの町会で構成されています。近隣センターを拠点に、町会の垣根を越えて、福祉活動や地域住民の交流を図り、住みよい生活環境づくりをめざして活動しています。

発行：富里地域ふるさと協議会・富里地区社協部会
http://www.fk-tomisato.net/

編集・制作：広報部 koho@fk-tomisato.net
お問 合 せ：TEL 04-7173-9531（富里近隣センター）

好天に恵まれたふれあいの一日

3月8日「ふるさとふれあいまつり」開催

ふるさと協議会のイベント「ふるさとふれあいまつり」が 3 月 8 日、富里近隣センターの全館で行われました。リサイクルバザーなどさまざまな催しに、地域の多くの人が参加して、ふれあいを深めました。

まつりは地区社協部会が中心となり、毎年 3 月に実施されている恒例の事業。少々気温は低かったものの絶好の日和に恵まれて、来場者の出足も好調でした。



リサイクルバザー



会議室は地域の人たちが提供した不用品を安い価格で販売するバザー会場。知る人は知る催しで、開店前から行列ができるほど。洋服などの衣類、ブランドものもあるバッグ、キッチン用品、陶磁器、雑貨など多彩な商品が陳列され、いずれも破格の値段とあって次々に売れていきました。

スポーツタイプの子供用自転車、折りたたみベッドなど例年にはなかった商品も。なおこの日の売り上げの 14 万 5000 円は福祉基金として地域の福祉に役立てられます。



「バルーンアート」などのコーナーで子供たちは遊びに熱中。人気のチーバ君も登場し、子供たちの大歓迎を受けていました。



こども広場

裏庭は「こども広場」として開放され、ベーゴマ、お手玉など「昔の遊び」「輪投げ」「ストラックアウト」

演芸大会

和室では午前、午後と演芸大会。カラオケ、詩吟、フラダンス、踊り、大正琴の演奏、合唱などが披露



されました。こちらは各町会の老人クラブの人たちの出演も多く、のど自慢、踊り自慢の熱演に盛んな拍手が送られました。

模擬店コーナー

玄関前の駐車場は模擬店のコーナー。文化部、体育部、給食ボランティアなどの専門部が担当す



る、焼きそば、おにぎりや唐揚げ、豚汁、おしるこの屋台が、室内にはコーヒー売店も設けられ、お昼ときには、食事と団らんを楽しんでいました。

協議会事業への参加を



ふるさと協議会
会長 高橋 健児

ふるさと協議会の 25 年度最後のイベント「ふるさとふれあいまつり」も無事に終わり、お年寄りから小学生まで、多くの人たちが、ひとときのふれあいを楽しんでいただけたと思います。

協議会の会長に就任して 1 年。さまざまな行事を実施してきましたが、各町会をはじめ、富里以外の地域も含めて多くの人と知り合うことができました。いま、協議会の事業は役員が中心になって行っていますが、それぞれの町会の役員以外の方にも、ぜひ協議会の活動内容を知っていただき、運営に参加して将来協議会を支える人材として住みよい地域づくりに活躍してほしいと思っています。

地区社協部会を支える3つの専門部

高齢者や児童の福祉、若いお母さんの子育ての支援のため、毎日地道な活動を続けているのが高齢者福祉部、児童保健福祉部、地域ボランティア部。地域の福祉推進の担い手である地区社協部会を支えているのが、この3つの専門部です。

●一人暮らしの高齢者をサポート

高齢者福祉部

高齢者支援に取り組んでいるのが高齢福祉部。一人暮らしの高齢者にみんなで食べる楽しさをと、ほぼ毎月 1 回、第 3 水曜日に近隣センターで「ふれあい食事会」を開いています。美味しさや栄養はもちろん、少しでも季節感を出せたらと 12 月にチキン、1 月にブリを使うなどの工夫もこらされています。食事の後には、時には専門家の指導によるミニ健康体操で体をほぐしたり、大正琴の伴奏で歌を歌ったりと、ひとときのくつろぎの時間を楽しんでいます。食事の



他にも9月の敬老の日にお祝いを贈ったり、12 月には自宅で介護する人にシクラメンの鉢を贈呈したり、高齢者のための地域の勉強会を開くなど、多彩な活動を続けています。



●若いお母さんの子育てを支援

児童保健福祉部

毎月定期的に続けている子育てサロン「どんぐりすくすくクラブ」。未就学児を持つお母さんと子供を対象に、柏三小こどもルーム(第1水曜日)と豊小こどもルーム(第3水曜日)で開かれています。



子育ての勉強会で、保健師などのアドバイザーや民生委員、健康づくり推進員、一般ボランティア(総勢 50 人)がサポートしています。おばあちゃんと暮らす家庭が少なくなった今、若いお母さんにとっては、悩み事を相談したり、同じ母親とふれあう場所とあって 10 月に 72 名、12 月に 85 名など年間のべ 800 人の母子が参加しています。8 月と 3 月には小学 6 年生がボランティアとして手伝うのもユニーク。このほか



6 月の「ニュースポールの集い」や 11 月の「野外炊飯・防災訓練」に児童向けの行事の企画や運営をしたり、親子体操教室や離乳食教室を開催しています。

●ふれあい広げるサロンの活動

地域ボランティア部

高齢者がつどい、ふれあいができるように、というのがサロン。それぞれの名称や開催日は別表の通りですが、その活動は多くのボランティアによって支えられています。おおむね午前 10 時から昼食をはさんで午後 3 時ごろまで。行われているのは囲碁、将棋、ゲーゴール

ゲーム、歌唱、フラダンス、編み物、手芸といった趣味、絵手紙、箸置きなどのものづくりなどに人気があるようです。また、豊友サロンでは、「出前講座」で介護予防の勉強会を開いたり、緑ヶ丘おしゃべり会のように、会のあと防犯パトロールで町内を回るなど、活動内容は幅広く工夫されています。ボランティアの人たちは代表者が集まって意見交換したり、2 月には風早南部地区を訪れて同地区のサロン活動に当たるボランティアとの交流会に参加するなど、より多くの人が参加できるサロン作りをめざしています。悩みはスタッフにも高齢化が進んでおり、若い人にぜひボランティアに参加して欲しいと呼び掛けています。



緑ヶ丘ふれあいサロン	緑ヶ丘会館 毎月第4日曜日
緑ヶ丘おしゃべり会	緑ヶ丘防災センター 毎週木曜日
豊友サロン	豊町ふるさと会館 毎月第1.3月曜日
富里ゆうゆうサロン	富里近隣センター 毎月第2水曜日
朝日サロン	朝日会館 不定期

おもいやりと助け合いで 住みよい地域づくり

●第3期5ヶ年計画

平成 26 年度からの第3期健康福祉活動計画が決まりました。

地域福祉向上のための目標として「おもいやりと助け合いで住みよい地域づくり」を掲げています。

この目標を目指して取り組む為の柱として次の 3 点をあげています。

- ① これまで以上に生活弱者への手助けの方や課題を研究していく。
- ② 引きこもりの高齢者がまだ多い。この解消をめざし、孤独な人への声かけと手助けを進めていく。
- ③ 活動を継続させていくためには、あすを担う人材が必要。人材を掘り起こして確保に取り組む。

民生委員 5 人を表彰 (12 月 14 日)

柏市社会福祉協議会は福祉活動にたずさわった民生委員を表彰。富里地区からは、次の 6 名が表彰されました。

◆稲垣晶子さん(富里) ◆千代田裕弘さん(通一) ◆河内航さん(栄町) ◆三澤尚美さん(泉町) ◆八巻ミサ子さん(富里) ◆岩原廣也さん(豊東)

介護者へシクラメンの鉢を (12 月 24 日)

自宅で家族を介護している人に、地区社協部会からシクラメンの鉢植えが贈られました。各町会の民生委員から、41 世帯に鉢が手渡され、クリスマスの彩りになると喜ばれました。



泉 町	4件
通 一	1件
緑ヶ丘	5件
富 里	9件
豊 西	4件
豊 東	18件

新春囲碁大会 (1 月 19 日)

富里近隣センターで、17 名によるハンディ戦が行われました。決勝は 4 つのブロックの勝者によるトーナメント戦。結果は、以下の通りとなりました。

**第 28 回新春囲碁大会**

優勝	柏木 欣三 5 段 (緑ヶ丘)
2 位	小松 靖門 3 段 (栄町)
3 位	広川 欣也 5 段 (豊東)

地域の勉強会 (2 月 20 日、21 日)

地区社協部会と民生委員児童委員協議会の共催で実施。地域内 4 会場で柏市消費者センターの森昭子さんを講師に迎え、「振り込め詐欺を防ごう」をテーマに勉強会を開きました。柏市は振り込め詐欺の被害が多い地域。「オレオレ」の他にも、あの手この手で高齢者などだまして大金を奪う詐欺事件が後を断ちません。そこで寸劇仕立てで対処法を学びました。

///// 最近増えている“劇場型” /////

男 A の電話 「X 社という有望な会社の未公開株をお売りできます。上場すれば必ず高い価格で売れます。パンフレットで検討を。」……しばらくして

男 B の電話 「おたくに X 社の株はありませんか。もしお持ちならば高価で買い取ります。売却はぜひ当社で。」

半信半疑だった被害者は、手の込んだ芝居にだまされて、A から株券を買ってしまう。売却しようと B に電話をしても、A に電話してもつながらない。紙クズではない株券が手元に残るだけ。

////////////////////////////////////

「簡単に儲かる話はありません。自分は大丈夫と思込まず、周りの人や消費者センターに相談して下さい」と森さんはアドバイスしています。

**開催会場と参加者**

20 日	午前	富里近隣センター (28 名)
	午後	豊町ふるさと会館 (26 名)
21 日	午前	朝日会館 (34 名)
	午後	緑ヶ丘会館 (31 名)

**暮らしの講習会****編み物講習会 (11 月 27 日)**

生活環境部

富里近隣センターで開かれた編み物教室に行ってきました。今回はホームソックスを編みました。参加者 31 名。慣れた手つきで皆さんおしゃべりしながら楽しそうに編んでいました。

**医療講演会 (1 月 18 日)**

生活環境部

十分に成長しているはずの赤ちゃんが、早産で生まれてしまう「早期出生低体重児」その原因で最も多いのが、お母さんの歯周病。ご存知でしたか? 「歯とからだ」をテーマにした柏厚生病院歯科口腔外科部長・矢島哲也先生のお話には、ハッとすることがいっぱい。会場の近隣センターには 50 人が参加し、日頃の正しい歯磨きの大切さや、定期検診を欠かさないことなど、熱心に話を聞き入っていました。

離乳食の作り方 (2 月 4 日)

富里近隣センターで大人の食事から簡単に取り分ける調理法を紹介。当日は健康づくり推進委員の指導のもと、12 名のお母様方に交じり、おばあちゃんも参加して和気あいあいと行われました。



2 月は研修ラッシュ

●県警本部で研修 (2 月 3 日)

防犯交通安全組合と協議会防災部合同の研修は、千葉市の県警本部と、新港クリーン・エネルギーセンターを視察。県警本部では通信指令室と交通管制センターを見学。県内のすべての 110 番通報は、この指令室で受理され直ちにパトカーや警察官に出動の指令が出されます。一日平均 1200 件もあるとか。交通管制センターは県内の交通情報を収集して信号機の制御や交通情報の提供を行ったりしています。

新港クリーン・エネルギーセンター・高熱で燃やす焼却炉により、ダイオキシンなどが分解されて、有機物質を出さず灰も燃やしつくしてブロックなどの材料にリサイクルされるという未来型の清掃工場は地球を汚さず、エネルギーも節約するなどの工夫がこらされ、興味深く見学できました。



●航空科学博物館へ (2 月 26 日)



地区社協部会の研修は、成田空港に隣接する航空科学博物館を訪ねました。会館には航空機の仕組みや歴史を示す資料が展示されています。ボーイング 747 など大型ジェット

機のエンジンはどう動くのか、航空機の客室を実物大で輪切りにしてみると・・・など。インストラクターの説明を受けました。引退したボーイング 747 の機種の実物の真下に立つと、改めてその大きさに驚かされます。展望台からは成田空港を離発着するジェット機を間近に見て、その迫力を体感。童心に帰って航空機の世界にワクワクした大人の”社会科見学”でした。



●市内清掃工場視察ツアー (2 月 27 日)

国内でもトップレベルのリサイクル率を誇る柏市の清掃施設を、豊町東町会では毎年視察しています。今回は他町会からの参加者も加わり、充実した研修と



なりました。私たちの生活から排出されたゴミを処理する工程を自分の目で確認した参加者は、改めてゴミを減らす努力の大切さを再認識しました。

リサイクルプラザ

ビン・缶・ペットボトルなどの資源ごみはここに運ばれて来ます。中には未使用のガスボンベや、吸い殻入りの空き缶が混入していることもあるそうです。作業員の方が手作業で取り除いています。ルールを守りましょう。



柏プラネット

柏市から委託された事業所です。毎週水曜日に回収される市内のプラスチックごみは、ここでリサイクル原料に生まれ変わります。この集積所がいっぱいになっている様子を見るために、毎年木曜日にツアーを実施しているそうです。汚れがひどいパックなどは、悪臭の原因になるだけでなく、リサイクル時の品質低下につながります。よく洗浄して出するか、可燃ごみとして出しましょう。

南部クリーンセンター

常磐線を境にして南側の可燃ごみを焼却しています。最新鋭の焼却システムがあたとなり、焼却灰の放射線濃度が高くなったため、一時休止していたのはご承知の通りです。



柏市の提唱する 3 R。リデュース (発生抑制)、リユース (再使用)、リサイクル (資源化) を私たちも実践しましょう。

お知らせ

- | | |
|--------------|----------------------|
| 4 月 10 日 (木) | 柏第三小学校入学式
豊小学校入学式 |
| 5 月 10 日 (土) | ふるさと協議会定期総会 |

編集後記

「どんぐり」という広報紙は読んだことはありましたが、まさか小学生の母である私達が担当する事になるとは一年前は全く思っていませんでした。自分の父親位のごめんなさい) 方達の仲間入りをして、取材や構成などをやらせていただき、沢山の方のご協力のもと、今まで知らなかった地域の行事や地域での取り組みが良く分かり、自分の住んでいる地域にさらに愛着がわいた気がします。

「広報部」と言うだけで内容があまり知られてない地味な仕事でしたが、地域がまとまっているのも、いろいろな方達の努力が支えてくれている事も知りました。取材した私達の記事が地域の人たちに少しでも目にとまり、毎日の生活の一助となれば幸いです。一年間ありがとうございました。

中村・東方(通一丁目)